

No.1 2011.8.5

一括申請

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団  
Asia 留学生奨学制度 奨学生募集要項

~~2011年10月期生 (奨学支援期間:2011年10月～2013年9月)~~  
2012年4月期生 (奨学支援期間:2012年4月～2014年3月)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

~~募集期間: 2011年9月5日(月)～2011年9月9日(金)必着~~

~~※ただし、2011年10月入学新1年生に限り9月21日(水)まで受け付けます。~~

このたびは2011年10月期奨学生及び2012年4月期奨学生を募集します。募集対象者は下記の通りです。なお、春入学の新1年生・新編入生につきましては、2012年1月に募集を行うため、今回の募集では対象としませんのでご注意ください。2012年4月期奨学生の募集については、本募集要項中「2011年10月」の表記を「2012年4月」と置き換えてお読みください。(読み換え部分には二重線を引いております。)

## I. 募集対象

	募集対象者
<del>2011年10月期生</del>	<del>秋入学生</del>
2012年4月期生	春入学生（春の新1年生・新編入生除く）

## II. 応募資格 (2012年4月現在)

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、文部科学省所轄大学の学部又は大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生で下記の条件を満たす者(ただし、日本国籍を有する者、短期大学生及び研究生を除く。)

- ① 国際理解と親善に関心を持ち、交流会に出席できる者  
(交流会は年6回主に東京で開催。交通費支給)
- ② 学習奨励金等の名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金に類する金品を受給していない者(学習奨励金、研究助成金などを受給している場合は事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金については応募可)
- ③ 在留資格「留学:college student」を有する者
- ④ 日本で就業している親がいない者
- ⑤ 「博士」の学位を取得していない者
- ⑥ 現在在籍している課程の修学期間が2012年4月より1年以上ある者
- ⑦ 勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者
- ⑧ 当財団の奨学生を終了後、SATOMとして交流活動に積極的に協力できる者  
(SATOM(サトム)とは佐藤陽財団のOB・OGのことです)

※再応募可

### Ⅲ. 奨学金

1. 支給額 学部学生 月額 120,000 円  
 大学院生 月額 180,000 円 (この他に学会出席補助金制度あり)

2. 支給期間 ~~「2011年10月期生」~~ ~~2011年10月から2013年9月までの2年間~~  
 「2012年4月期生」 2012年4月から2014年3月までの2年間

※ただし、採用時の課程に在籍する期間を限度とする。

2年以内に採用時在籍課程を卒業又は修了した場合(学部から修士、修士から博士へ進学など)は、その時点で支給終了となる。(例:学部4年生、修士2年生の場合、支給期間は1年間となる。)

※博士課程1年採用者については、博士課程2年時点で指導教員の報告書をもとに選考委員による審査を行い、正規の課程期間内に博士号が取得できると見込まれる場合は、奨学金支給期間を1年間延長できる。

3. 支給方法 支給は2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振り込む。

### Ⅲ. 募集人数

10名前後

### Ⅳ. 募集期間

~~2011年9月5日(月)～2011年9月9日(金) 必着~~

※ただし、~~2011年10月入学新1年生に限り9月21日(水)まで受け付ける。~~

### Ⅴ. 応募書類

○:必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
奨学生申込書	別紙①	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 1・2	別紙②	○	○	○	日本語 自筆
推薦状	別紙③	○	○	○	英語の場合は日本語訳を添付 ※指導教員により厳封のこと
評価書	別紙④	—	—	○	
エッセイ	別紙⑤	○	○	○	日本語 自筆 (所定用紙 A4 2枚)
在学証明書		○	○	○	新入・新編入の場合は「合格証明書」もしくは「合格通知書」
学業成績書		○	○	○	資料 I 参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
研究要旨	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照

※ 別紙②「履歴書 1」の「語学能力(日本語)」の欄は選考において重視する。

※ 別紙③「推薦状」は、指導教員記入のこと。ただし、指導教員が決まっていない学部生に限り、日本語学校の先生や身元保証人、寮長などが記入することを認める。

※ 代筆不可。ひらがな可。

※ 応募書類は返却しない。

## VI. 応募方法

2011年10月に在籍する大学の留学生課を窓口として、「V. 応募書類」を募集期間内に当財団宛に郵送のこと。書類不備及び応募者個人からの直接郵送の場合は無効とする。

※新1年生・新編入生の応募に関しては、在籍学校を窓口とすることも可とする。

### 【留学生課からの応募方法について】

下記の点に注意し、留学生課を窓口として応募書類を一括して財団事務局宛に提出ください。

- I. 長形3号封筒（留学生課住所・担当者名を明記の上、80円切手貼付）……………2通  
財団から留学生課へ受付番号等を一括送付する際に使用する。大学毎に2通同封すること。
- II. 応募書類（厳封書類除く）の中にA4サイズ以外の書類がある場合はA4サイズにコピーしたものを、原本とともに同封すること。  
両面コピー不可、ホチキス留め不可。
- III. 厳封書類は、応募書類の一番上にクリップで添付すること。  
書類間に厳封書類を挟まないこと。

### 【応募書類送付先】

〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-7-1 株式会社サトー本社内  
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

## VIII. 選考及び結果発表

### 1次選考 書面選考

- ・ 1次選考の結果は、10月11日（火）までに留学生課宛に郵送にて通知する。

### 2次選考 面接 10月22日（土）または10月23日（日）に東京にて実施予定。

- ・ 面接は日本語で行う。
- ・ 2次選考の要領は1次選考結果通知後、留学生課宛に郵送する。
- ・ 2次選考の結果は、10月26日（水）までに留学生課宛に郵送にて通知する。

※選考の結果は、1次選考（10月11日発表）、2次選考（10月26日発表）ともに、発表日の午前10時より財団のホームページ（<http://www.sisf.or.jp>）に合格者の受付番号を掲載するが、郵送にて通知する「選考結果」で最終確認をすること。なお、応募者は受付番号を事前に留学生課に確認すること。

※合格した学生は、11月19日（土）に行われる理事会の承認、認証式の出席をもって、正式に当財団の奨学生として認定する。11月19日の認証式の出席が必須となる。

## IX. 留意事項

奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがある。  
〔奨学生規則〕を当財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください)

- ① 交流会を無断で欠席した場合
- ② 「生活報告書」を期限内に提出しなかった場合
- ③ 日本を年間 45 日以上離れた場合(研究目的の場合は 90 日まで)
- ④ 病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合
- ⑤ 指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
- ⑥ 学業成績が不良の場合
- ⑦ 休学・転学の場合(出産、育児による休学を除く)
- ⑧ 素行不良の場合
- ⑨ 財団の名誉を傷つける行為をした場合

### 【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱われます。ただし下記の場合は、関係者に対して個人情報が開示されることがありますのでご了承ください。

- ① 選考のため、選考委員へ応募書類を開示する場合
- ② 重複支給の確認のため、大学担当者及び奨学団体に「合格者一覧」を提供する場合

### 【応募締切日(奨学金申込書・財団指定用紙)】

国際教育事務室(駿河台キャンパス) 8 月 29 日(月) 16:00まで

~~国際教育事務室(和泉キャンパス) 月 日( ) 16:00まで~~

生田キャンパス課(生田キャンパス) 8 月 29 日(月) 16:00まで

\*財団指定用紙提出先 及び 問い合わせ先: 国際教育事務室 tel 03-5300-1542 03-3296-4144

### ★夏季休業中(8月1日～9月19日)の事務室窓口取扱い時間について★

開室時間 9:30～16:00(11:30～12:30を除く)

大学一斉休業期間 8月10日～8月16日 夏季休業中の土曜、日曜、祝祭日は事務取扱いはありません。